

海洋漁業科学館 中期経営目標 取組状況（平成25年度）

中期経営目標（実施期間 H24～H26）

- ① 入館者数を3年間で10%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き90%以上を維持します。
- ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額を3年間で10%削減します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 ※	実績値 (H24)	実績値 (H25)	目標値 (H26)
① 入館者数	5,402人	6,655人	6,206人	6,000人
② 利用者アンケートによる満足度	92%	94%	92%	90%以上
③ 利用者1人あたりの一般財源投入額	710円	497円	509円	640円

※①はH20～22平均。②はH23。③は一般財源（H20～22平均）／利用者（H20～22平均）とした。

2 平成25年度における主な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス（満足度）向上に向けた取組

平成24年度事業で水槽を購入し、水産総合センターの各事業所での生産機能を活用したヒラメやサケの稚魚、サザエの生態観察や、アユつかみ取り、ホンモロコ釣りなど、親子で楽しみながら海や川の魚の生きた知識が学べる企画展（年13回）を開催したほか、月替わりの工作教室（イカとっくり作り、ガラス玉編み込み等）といった体験プログラムを引き続き提供しました。

「いしかわ自然学校」のパンフレットやホームページへのイベント開催情報提供、奥能登地区の「道の駅」や「国民宿舎」などへのチラシの設置、水産総合センター内のホームページの更新頻度の向上（月1回更新）などPRに努めた結果、ホームページを見て来館したと言う県外者も見受けられました。また、26年度から「県民大学校」講座への参画に向けた協議を行いました。

(2) 施設運営の効率化に向けた取組

節電・節水等の経費節減により、効率的な施設運営に努めた結果、施設管理費が減少しました。

3 平成26年度における取組内容の見直し等

秋から冬期の利用者増加に向けたPR、企画展を検討します。

「県民大学校」の自然環境分野において講座を開講します。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

指標	H22	H23	H24	H25	備考（増減理由等）
利用者数 計	4,789 人	6,433 人	6,655 人	6,206 人	9～10 月頃に天候の悪い日が続き、秋頃の入場者数が減ったため。
うち有料利用者	2,047 人	2,313 人	2,486 人	2,413 人	
工作教室利用者	1,381 人	1,218 人	1,292 人	1,276 人	
利用団体数	25 団体	40 団体	36 団体	16 団体	

2 収支の状況

（単位：千円）

		H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 予算	備考
歳出	職員費	3,527	4,827	4,834	4,698	4,841	
	施設管理費※	4,589	3,985	3,725	3,587	3,808	
	工作教室開催費	22	72	69	42	0	
	計	8,138	8,884	8,628	8,327	8,649	
歳入	入館料	395	449	486	469	450	
	国庫補助金	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,743	8,435	8,142	7,858	8,199	
	計	8,138	8,884	8,628	8,327	8,649	

※ 施設管理費の一部（警備委託料や光熱水費）は、水産総合センターと区分できないため、案分した額としています。

3 利用者 1 人あたりの一般財源投入額

	H20～22 平均	H23	H24	H25
一般財源投入額 ①	7,390 千円	8,435 千円	8,142 千円	7,858 千円
職員費を除いた額 ①'	3,838 千円	3,608 千円	3,308 千円	3,160 千円
利用者数 ②	5,402 人	6,433 人	6,655 人	6,206 人
利用者 1 人あたりの一般財源投入額 ①÷②	1,368 円	1,311 円	1,223 円	1,266 円
職員費を除いた額 ①' ÷②	710 円	561 円	497 円	509 円